

# バデ・バーバをシュリー・ニーラーヤに迎える

2018年9月20日 木曜日  
スワーム・イーシュワラーナンダ

(これは 2018 年 9 月 20 日に、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで行われたバガヴァーン・ニッテャーナンダのムールティ移転のお祝いの中で話されたものです)

バガヴァーン・ニッテャーナンダに敬意を！

ようこそバデ・バーバ！

私たちは、ここシュリー・ニーラーヤであなたの神聖なダルシヤンを持つことを、心から幸せに思います。

おお、バガヴァーン・ニッテャーナンダ、私たちはあなたを愛し、あなたに心からのプラナムを何度も何度もささげます。

今日、2018 年 9 月 20 日の木曜日に、私たちはあなたの新しいプージャーの祭壇への到着を祝うサツァングのために集まりました。この新しい祭壇で、私たちはこれから毎日あなたを崇拝し、敬意を表し続けるでしょう。

このようにして、この吉兆な日に、私たちはグルマーイの 2018 年のメッセージ、「サツァング」に参加しています。サツァング、真理の仲間 —— 聖人や信奉者の仲間、最良の仲間。

昨日の朝、そこがちょうど開いた時に、私はアートマ・ニディにあるバデ・バーバのムールティがこれまで置かれてきた空間に行きました。私はバデ・バーバにプラナムをささげ、彼に祈りました。「ここに何年もの間いてくださって、ありがとうございます、バデ・バーバ」。内側で、私は彼がとても嬉しそうに言うのを聞きました。「明日には、シュリー・ニーラーヤでおまえたち皆と一緒にいるだろう」

この言葉を聞いて、私は笑顔になり、そしてとても感動しました。それからバデ・バーバの言葉について熟考し始めました。バデ・バーバは本当にここで私たち皆と一緒にのサツァングを望んでいるのだ、と私には思えました。聖人たちは、真理を知り真理を生きることに専念する良い仲間を愛します。

シュリー・ニーラーヤ、この神聖なホールは、私たちがサツァングのために集まる場であり、世界中で共有されるシッダ・ヨーガの教えを、グルマーイが与える場です。この神聖なホールは、「シュリー・グル・ギター」を毎日朗唱し、グルへの崇拝を表す場です。ここシュリー・ニーラーヤで、私たちは神聖な名前をチャンティングし、大いなる自己について瞑想します。

私が体験したことからすると、ここはマハーヨーギであるバデ・バーバが居たいと望む場所であるようです。それは彼を愛する探究者たちが精神修行をする場所です。

バデ・バーバのムールティは、神聖なシャクティで活性化しています。これからは毎日私たちが精神修行をするためにこのホールに入る時、シッダ・ヨーガのサーダナーのゴールを私たちに思い出させてくれるバデ・バーバの吉兆な表情がここにあるのです。シッダ・ヨーガ・アーシュラム、瞑想センター、チャンティングと瞑想グループ、あるいは自宅のプージャで、深い敬愛を持って彼を崇拝する世界中のシッダ・ヨーギたちは、この体験をよく知っていることでしょう。毎日、バデ・バーバは何千人もの人々の心を照らし、これからも時代を超えてそれを続けていくでしょう。

例えば、シドニーにあるシッダ・ヨーガ・アーシュラムでは、コミュニティー全体が月に 1 度集まり、小さなバデ・バーバのムールティにアビシェークとプージャーをします。

一人のシッダ・ヨーガの生徒はこのように書いています。

彼はわずか 8 インチの高さですが、コミュニティーの中に深い愛と敬意を生み出します。

毎回のサツァングの最後には、人々は静かなつながりの瞬間を彼と共有するために列に並びます。感謝と恩恵の雰囲気明らかに感じられます。そして、人々はこの恩恵を彼らの日常生活に持っていき、それを他の人々と分かち合うのです。

片田舎に住む一人の信奉者は、自宅で毎日バガヴァーン・ニッテャーナンダにプージャーをします。彼女はこのように書いています。

私は毎朝バデ・バーバのダルシャンをします。「ニッテャーナンダ・アーラティー」をチャンティングし、彼のムールティの周りに花を置きます。私は彼に話し掛けます。彼のための美しい衣服を持っており、バーバからもらったマーラーを掛けます。シャクティパート・インテンシヴやお祝いの時には、バデ・バーバはそのような時のために取ってある特別な布の上に座ります。

多くのシッダ・ヨーギはまた、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを日々訪れ、バデ・バーバのダルシャンをし、彼の教えを受け取ります。

バデ・バーバの姿を崇拝し瞑想する人は、彼の恩恵を通してサツァングの体験、すなわち真理と共にいる体験を持つことができます。

バデ・バーバは、ジャンマ・シッダ、生まれながらヨーガの完全なる境地にいた存在でした。

非常に若い頃から、バデ・バーバは悟りの境地を示していました。彼は、数え切れない奇跡を起こしたことで有名でした。これらの奇跡を通して、彼は、人々を向上させ、彼らの祈りに応え、そして彼らに神への道を示しました。

バデ・バーバの信奉者の一人が、このような物語を語っています。

ある朝、農夫であった私の父が畑を耕しに行くと、野原でじっと横たわっている青年に出会いました。父は、青年が呼吸をしているかどうかを見るために近づきました。彼は極めてわずかでしたが呼吸をしていて、サマーディの境地にいるように見えました。彼の顔には美しいほほ笑みがありました。父は、この人は聖者に違いないと思ったので、静かにその場を離れました。

翌朝、青年はまだそこにいました。父の好奇心は膨らみましたが、彼をそのままにしておきました。

3日目の朝に父が再び出掛けた時、青年は同じ場所にまだ横たわっていました。さすがに父は、これは何か彼の具合が悪いのではないかと心配しました。父は彼に近づいて、彼を優しく揺り動かしました。青年はとてもゆっくりと目を開けました。父は、「どうぞ、私の家においでください。食事を差し上げます」と言いました。

すると青年は父に優しくほほ笑み掛け、そして起き上がり、家までついて行きました。

彼は私の家族の家に数日滞在し、そしてある日、ただどこかへ行ってしまいました。彼はとても平和な空気を残していきました。誰もがそれを感じました。

何年も過ぎ、父が亡くなってからかなり後に、私はガネーシュプリー村に住んでいるバガヴァーン・ニッテャーナダという名前の偉大な存在について耳にし、彼のダルシャンに行きました。

私は、とても静かにバガヴァーンの前に歩み出しました。彼は私を見ると、私の両手を取り、そして私に贈り物 —— ショール、花輪、果物 —— をたくさん与え始めました。「あなたのお父さんは、私にとっても親切にしてくれた」と、彼は言いました。

何という驚きでしょう！ それが起きた時、私は生まれてさえいませんでした。彼はどのようにして私のことが分かったのでしょうか。

彼はすべてを知っています。

バデ・バーバにとって、知覚力のないものは無く、宇宙全体は大いなる意識で満たされていました。これが彼のビジョンであり、彼はシャクティパート・ディークシャーを通して、人々をこの一体性のビジョンに目覚めさせる驚くべき力を持っていました。

バーバ・ムクターナダを目覚めさせ、世界中で神聖な伝授を得ることができるようにすることを彼に命ずることによって、バデ・バーバは、シッダ・ヨーガの道が数え切れない探究者にとって知識と内なる変容の源となる礎を築きました。バデ・バーバは、シッダ・ヨーガの系譜から流れる恩恵の川を、この世界にもたらしたその人だったのです。

彼はどこにでもいますが、彼のムールティの前に来ると、あなたは彼の無条件の愛を感じることができます。あなたは神の偉大な力とつながることができます。バデ・バーバの姿は、まさに絶対なる者の顔貌です。彼の美しい表情は、私たちの内側にサツァングを呼び起こすのです。

あるブラーミンの僧が、彼のバデ・バーバとの体験を語っています。

若いブラーミンの僧としての私の初めての務めの一つは、ここパラニにあるクリシュナ・ temple を管理することでした。ある朝、私がちょうどプージャーを終えて temple から出てくると、腰布だけをまとった見知らぬ人が道を上って来るのが見えました。

彼は私のいる所まで来ると、「 temple を開けてください。アーラティーをささげたいのです」と言いました。

私は彼を見て、「彼は自分を何様だと思っているのだろう」と思いました。私はただ彼を無視して歩き続けました。しかし、ほんの数歩進んだ時、私は temple の鐘が鳴るのを聞きました。私は振り返りました。彼はすでに temple の中にいたのです！

私が駆け戻ると、内陣の扉が大きく開いているのが見えました。この男は temple の祭神、クリシュナ神の位置に座っていました。そればかりか、光が彼の周りを動き、目に見えない手が彼にアーラティーをしていたのです。

私が何をしたか、知りたいですか。私は完全なプラナムをしました。

それから彼は出て来て、 temple の前に立ちました。彼は、目がくるっと回って彼の頭の後ろに向いた状態で、ヴリクシャーサナ、すなわち木のポーズで片足で立ちました。

すると、どこからともなく人々が走って来て、彼の足元にお金を注ぎ始めました。彼は、地元のサンニャーシ、つまりスワームたちのリーダーを連れて来るように頼みました。そして、彼はそのスワームにお金を集めるように言いました。それから、彼はとても早く歩いて去りました。

スワームは私に、彼はこのテンブルの祭神にずっと祈っていたと話しました。なぜなら、彼や他のスワームたちは食べ物が不足して飢えそうだったからです。彼はクリシュナ神に、少なくとも1日に1食は取れるよう祈っていました。それで、バガヴァーン・ニッテャーナダは彼の祈りに応えたのです。

そして、奇跡は、大なり小なり、今日まで続いています。

美しい祈り、「シュリー・アヴァドゥータ・ストートラム」は、バデ・バーバの内なる境地を描写してたたえています。

ヨーガにおいて完全で、苦行を体現する者であり、愛に満たされ、  
吉兆な表情を備え、完全な実現を遂げ、  
恩恵の具現である —— そのようなニッテャーナダに頭を下げる。<sup>1</sup>

この詩節を聞く時、あなたの敬愛するバデ・バーバをはっきりと認識しませんか。

何と祝福された日でしょう。私たちは、私たちを取り囲んでいる偉大なシッダたちとのサツァングにここにいます。

---

<sup>1</sup> Shri Avadhuta Stotram16; *The Nectar of Chanting* (South Fallsburg, New York: SYDA Foundation, 1983) p. 62.

バデ・バーバ、あなたの最も美しく愛ある姿で私たちの所へおいでくださるという栄誉をいただき、ありがとうございます。

私たちはシュリー・ニーラーヤにあなたを迎えて、とても幸せです！

私たちはあなたに崇拜とプラナムをささげます。

そして私たちはあなたを、この称賛の言葉でお迎えします。

サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ ！

サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ ！

サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ ！

